

# 第1 平成19年度決算の状況

## 1 決算のあらまし

本県の平成19年度予算については、「県民しあわせプラン・第二次戦略計画」のスタートの年として、「みえけん愛を育む“しあわせ創造県”」の実現に向けた取組を着実に進めるとともに、厳しい財政状況のもと、限られた経営資源の中で、「選択と集中」を一層進め、簡素で効率的な「身の丈」にあった行財政運営を進めることを目指して編成しました。なお、平成19年4月には、統一地方選挙が行われたことから、当初予算は「骨格予算」とし、当初予算で計上を見送った政策的な新規事業や公共事業については、6月補正予算において計上しました。

その結果、平成19年度決算の状況について、一般会計、特別会計及び企業会計ごとに収支状況をみますと、表1のとおり、一般会計における決算では、歳入は前年度に比べて1.7%減の約6,993億円、歳出は前年度に比べ1.6%減の約6,801億円となりました。このため、歳入と歳出の差引額である形式収支は、約191億円の黒字となり、形式収支から翌年度に繰越すべき財源、約144億円を差し引いた実質収支は、約47億円の黒字となっています。

また、特別会計では、歳入は前年度に比べ16.0%減の約276億円、歳出は前年度に比べ17.0%減の約230億円となり、形式収支は約46億円の黒字、実質収支は約35億円の黒字となっています。

次に、企業会計の決算は、収益的収支における収入は、前年度に比べ0.2%減の約391億円、支出は前年度に比べ0.3%減の約381億円となり、差引額は約10億円となっています。資本的収支における収入は、前年度に比べ12.2%減の約148億円、支出は前年度に比べ0.6%増の約266億円となり、差引額はマイナス約118億円となっています。

なお、各会計ごとの過去からの決算の推移については、巻末資料1を、また一般会計と特別会計における実質収支額の推移については巻末資料2をご覧ください。

表1 三会計決算収支状況

(単位:千円、%)

	一 般 会 計					特 別 会 計				
	歳 入		歳 出		差引額 A - B	歳 入		歳 出		差引額 A - B
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	
平成18年度	711,316,689	△0.7	691,001,575	△0.7	20,315,114	32,886,269	△7.3	27,686,113	△9.8	5,200,156
平成19年度	699,282,037	△1.7	680,147,656	△1.6	19,134,380	27,632,112	△16.0	22,986,562	△17.0	4,645,551

	企業会計（収益的収支）					企業会計（資本的収支）				
	収 入		支 出		差引額 A - B	収 入		支 出		差引額 A - B
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	
平成18年度	39,220,887	△3.1	38,269,727	△3.0	951,160	16,899,785	5.2	26,471,009	11.0	△9,571,224
平成19年度	39,141,107	△0.2	38,138,970	△0.3	1,002,137	14,837,814	△12.2	26,635,264	0.6	△11,797,450

(注) マイナスを「△」印で表示し、以下、同様に表示します。

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)